



- 会長／宮澤由己
- 副会長／笠原新太郎・中嶋孝一
- 幹事／井上保子
- 会報委員長／原 史郎

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ E mail: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2701 回例会 2015 年（平成 27 年）4 月 7 日(火)

点 鐘：宮澤由己 司 会：濱 俊弘
 斉 唱：君が代、奉仕の理想 唱 和：四つのテスト
 ラッキーNo：NO. 27 武井利夫
 皆 勤 祝：大橋正明 36 年・小口泰史 19 年・太田博久 9 年・佐藤有司 9 年
 誕 生 祝：宮澤由己・梅垣和彦・上條英雄・小山 智



会長挨拶

皆さんこんにちは、いよいよプロ野球も開幕しましたが、最初からつまずいているところ、また予想外に調子の良いところといろいろですが、海の向こうでは今日ヤンキースの田中将大投手マー君が開幕投手として登板し大リーグが開幕しました。残念ながら今日は負けてしまいましたが、マー君といえば昨年 7 年で 161 億円という破格な金額で契約しましたが、当時ある新聞社で面白い数字を出して目に付いたのですが、7 年で 161 億円ですので一年で 23 億円になります。仮に年間 25 試合登板ですと 1 試合 9200 万円になり 1 試合 100 球投げるとすると一球 92 万円になるそうです。昨年は肘の故障のため残念ながら途中でリタイアしてしまいましたが、今年は最後まで頑張ってもらいたいものです。

委員会報告

親睦委員会 4/11(土)は親睦バスハイクです。25 名の方にご参加いただきます。集合はホテル岡谷 6:50・解散は 20:00 頃となります。参加費は当日集めさせていただきます。よろしくお祈いします。

社会奉仕委員会 4/25(土)は財団地区補助金事業として社会奉仕委員会が担当し、塩嶺御野立公園への案内板設置除幕式と植樹を行います。10:00 展望台集合・R ジャンパーを着用してください。詳細は事務局よりご案内をします。ご協力をよろしくお祈いします。



卓話「岡谷の自然遺産・塩嶺-鳥と文化」

日本野鳥の会 諏訪
会長 林 正敏様

日本野鳥の会諏訪の林と申します。今回、岡谷ロータリークラブ様に於かれては塩嶺に小鳥の森表示の看板と植樹の寄贈して頂けますこと大変有難く感謝を申し上げます。この機会に本日は短時間ではありますが岡谷市の自然遺産ともいべき塩嶺御野立公園について改めてお話させていただきます。

塩嶺(正確には塩尻峠)は標高が 1,020mで景観に恵まれ、展望台からは眼下に諏訪湖を見下ろし、右に南アルプス、左に八ヶ岳連峰、その背後には霊峰富士山(3775, 6m)、右端には第二の高峰北岳(3192, 4m)、反対の松本側には第三の北アルプスの奥穂高岳(3190m)と、我が国の三高峰が望める素晴らしい眺めが楽しめます。

一方、園内には中山道が通っていて、古くは街道を往来する旅人の休息の地であったことでしょう。この街道はまた文久元年(1861)に、政略結婚によって皇女和宮が将軍家に嫁いだ際にお通りになった峠でもあります。後に明治 13 年に明治天皇が、また昭和 22 年と昭和 40 年の 2 回、昭和天皇がお出でになりました。園内には平野村(現岡谷市)と筑摩村(現塩尻市)の篤志者によって建てられた立派な巡幸碑があり、今日では両市の関係者が毎年 6 月と 10 月の 2 回碑前に集まって一礼をする御野立記念祭がとりおこなわれています。

指定・認定の関係で申せば、この公園が八ヶ岳中信国定公園の一角にあり、県内でも数少ない特別鳥獣保護地区に指定されているほか、県の「小鳥の森」に指定(昭和 44 年)、さらには野鳥のさえずりが環境省の「日本の音風景百選」に認定(平成 8 年)されました。県内の百選入りは 3 件あって、塩嶺のほか善光寺の鐘の音、霧ヶ峰八島湿原のシュレーゲルアオガエルの蛙鳴(あめい)が認定されています。

野鳥について申しますと、この森には「日本三鳴鳥」として美しい鳴き声で知られたコマドリを除くウグイスとオオルリの二種類がいます。このうちウグイスは以前たくさん生息し、多くの鳴きが聞かれましたが、低灌木の藪を好むウグイスの環境も長年の間に林に変化しウグイスもいなくなりました。近年、ウグイスを復活させるためウグイスが好むササ原を育て同時に北アルプス方面の一部の展望も良くしようと、行政や私たちが協議を重ね市観光協会の皆さん方のご協力を得て、ササを育てる斜面に低灌木の山ツツジを植えました。その結果、4 年目にはもうウグイスが繁殖し、美しいさえずりが復活したのです。

これらの野鳥を楽しむ春から初夏、この地で行なわれる塩嶺小鳥バスは全国に知られた名物行事ですが発足は早く昭和 29 年のこと、今年で 62 回目を迎えます。5 月と 6 月の毎週日曜日、晴雨に関わらず続けてきました。

戦前の一時期はこの峠を通過する野鳥を、当時は合法的な猟として認められていたカスミ網を使って捕らえる鳥屋場(とやば)があり、峠を訪れる人たちに焼き鳥を振る舞う施設もありました。

戦後、岡谷市はこの一帯の自然を有効に生かそうと、当時教員で野鳥研究者であった諏訪探鳥会会長(後の日本野鳥の会諏訪支部長)の小平萬榮(まんえい)さんに意見を求めました。その際に「小鳥バスを繰り出して市民に愛鳥思想を高めてもらい

ながら、自然の素晴らしさを楽しんでもらう場にしてはどうか」と提案。さっそく当時の宮坂健次郎市長ら市の三役、河西万吉市議会議長らが現地を視察し、その有効性を確認できたとして小鳥バスがスタートしたのです。

この催しは25回までは日本野鳥の会諏訪支部が主催し、以後は岡谷市に事業移管され、現在は岡谷市主催によって実行委員会が設けられ運営されています。初代の解説者は小鳥バスを提案した小平さんが行ないましたが、その語り口はユーモアあふれるもので参加者を惹きつけ、これが「萬栄節」として広まりました。小平さんは小鳥バスの発展に情熱を注いで30年、以後は私に引き継がれましたが、私も32年目になろうとしています。

一方、小鳥バスを遠方から必死で支えていた方が横浜にいた中西悟堂氏です。中西氏は天台宗の僧籍をもった方で日本野鳥の会の創設者です。戦前まで日本では野鳥は捕って食するもの、或いは籠に入れて鳴きを楽しむもの・・・という風習が定着していた中で、中西氏は「野の鳥は野に・・・」を信条に「野鳥」という言葉をつくりだし、これが国語となりました。昭和9年に北原白秋、柳田国男、金田一京助らと日本野鳥の会を創設し機関誌「野鳥」を創刊。日本初の探鳥会を富士山麓で行った人で、生涯における数々の自然保護の功績で勳三等旭日中受章、後に国文化功労者として顕彰されました。

岡谷市には7回訪れていて、塩嶺で詠んだ短歌「おのがじし朝光（あさかげ）に たつ木々ありて奥処（おくど）はふかしもろどりのこゑ」の歌碑は、小鳥バス10周年を記念して園内に建立されました。托話の中では申しあげませんでしたが一昨年ここ数年対象者がなかった中西悟堂賞を私が戴く栄誉を得ました。諏訪湖の全面禁猟運動の提唱と達成、小鳥バスなど文化活動の継承などが主な理由です。これは昨年他界した新潟県佐渡でトキの保護に生涯をささげた佐藤春雄さんに続く二人目といいますが、私の受賞の大半は小平さんあってのことで、受賞式が行われた滋賀県の比叡山延暦寺でもそのことを列席者にお伝えしました。自画自賛めいてしまい恐縮ですが、塩嶺とのつながりでご容赦願います。

多くの方々、団体の皆さまによって育てられた塩嶺は、岡谷市にとってかけがえのない自然遺産であると思います。この森をより素晴らしい環境にするため今後とも皆さまのお力添えを頂きながら、微力ではありますが努力を重ねていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。



小鳥バスで野鳥を観察する参加者

ニコニコボックス

井上保子・牛山幸一・梅垣和彦・太田博久・大橋正明・笠原新太郎・北澤洋之介・佐伯克己・薩摩 建・佐藤有司・瀬戸雅三・高木昭好・武井利夫・竹村一幸・中嶋孝一・濱 俊弘・林 尚孝・林 靖高・原 史郎・宮坂 伸・宮坂宥澄・宮澤由己・守屋麻里・矢島 實・山岸邦太郎・宮坂晃介・小山 智 日本野鳥の会 諏訪 会長 林正敏様ようこそ、歓迎いたします。本日は卓話を楽しみにしています。

小口泰史・山崎典夫(次期会長・幹事) 4月5日の地区研修・協議会にご参加いただきありがとうございました。

矢島 進 川岸地区山林火災では皆様にご心配をおかけしました。今回の大規模火災を教訓に災害に強い消防団をつくっていきたいと思います。

平沢清文 創業月です。今後ともよろしくお願ひします。

武井利夫 お蔭様で創業82年になりました。

中村文明 大正2年創業以来今年で102年を迎えました。今後とも御指導、よろしくお願ひ致します。

出席報告

会員数42名、出席者33名、出席率82.50%、前々回訂正89.74%

2014~2015年度 RI テーマ
ロータリーに輝きを
Light up Rotary

